「かいづか家族の日」コンクール表彰式

問合せ先　社会教育課☎072－433－7125

市では、11月の第３日曜を「かいづか家族の日」とし、今年は11月15日(日)にコンクール表彰式を実施しました。

料理コンクールでは、市内在住の小学４年生から中学３年生とその家族の２人１組を対象に「貝塚産の食材を使ったご飯ものと副菜の組み合わせ」をテーマにレシピを募集。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実技選考を中止し、書類選考で応募作品から５作品が入選しました。

エッセイ・写真コンクールのテーマは「家族」。応募いただいたエッセイ・写真から各10作品が入選しました。

今回応募作品は、エッセイ・写真・料理あわせて177作品です。多くのかたにご応募いただき、ありがとうございました。

市は平成30年に「あったか家族都市」宣言を制定しました。今後も家族のありかたや大切さを改めて見つめなおすことができるような「かいづか家族の日」の取組みを推進していきます。

料理コンクール表彰式

料理部門 優勝

無田知子さん
愛彩さん（東山小６年）

何回も作っていろいろな人に試食してもらいました。優勝できてビックリしたけど、本当にうれしいです！

「みつば香る秋味ごはんと春菊で免疫力UP!びっ栗グラタン風」

【料理コンクール審査員】

松本秀夫さん
（貝塚市プレミアムサポーター・元 辻調理師専門学校技術顧問）

安場昌子さん
（エコール辻大阪 辻日本料理マスターカレッジ　日本料理教授・市内在住）

講評　料理コンクール審査員 安場昌子さん

レシピを見ていると、みなさんの家族の仲の良さ、家族愛をすごく感じました。どのレシピをとっても、素晴らしかったです。このコンクールを通じて、食の世界に興味を持っていただけると嬉しく思います。もっともっと家族で一緒に料理を作ってくださいね。そして来年こそは、みなさんが調理場に立って料理している姿が見られることを願っています。

※安場審査員にはビデオレターでご参加いただきました。

写真部門 最優秀賞

古林駆寿さん
（南小１年）

受賞作品
「2020jump~今を乗り越えよう~」
※表紙写真です。

毎年撮りに行っている海の写真を今年初めて応募しました。優勝できてとてもうれしいです！応募してよかったです。

古林駆寿さん

写真コンクール表彰式

エッセイコンクール表彰式

エッセイ部門 最優秀賞

感謝よとどけ

向井結愛さん
（津田小６年）

私のお母さんはいつもやさしい。でも、私にお父さんはいない。でも、参観の時は来てくれたりしている。今は、お母さんと二人ぐらしだからでこそ色々お母さんにめいわくをかける。家事もしてくれたりしているのに私の前ではつらそうでしんどそうな所を見せない。そこが私のお母さんのすごい所だと思う。

おばあちゃんに聞いた、私が見ていないときお母さんはなみだを流してたんだって。私が次、お母さんを見たときはそのなみだはなくていつものお母さんだった。なみだを流していても私の前では、いつものやさしいお母さん。私の前で泣いてもいいのに…と思うこともある。

でも、お母さんにはなにかあるんだと思うから私は心の中だけで心配する。本当はもっと「だいじょうぶ？」と言ってあげたい、だけどそれがお母さんのいやなことならまたその事を思い出してしまうから私はあまりふれないようにしている。

大変なことばかりなのにそれをうまくこなしてるお母さんがすごい。ちょっとは私にたよってくれてもいいのにと思ってしまう。お母さんだけじゃなくても私もてつだうことをふやしたい。それでもいつも家事、勉強などを教えてくれたり色々してくれているんだ。その事全てに感謝している。二人なのに色々めいわくかけてごめんね。色んな事が出来るようになるね。大好きなお母さんに届いてください。いつもありがとう。

写真講評　エッセイ・写真コンクール審査副委員長 朝倉康則さん(市内在住のフォトグラファー)

今年の世相を表現する作品がいくつかありました。それはテーマを更にレベルアップさせる意味でも重要です。よい写真を撮るためのポイントは、一言で言うと我慢としつこさです。よいタイミングが来るまで待つ我慢とチャンスが来たらシャッターをどんどん切るしつこさが大切です。表からも裏からも撮る、上からも下からも撮る、人物を撮る場合は表情や身体の動きなどがポイントになります。

また来年は違った家族の姿を見せてください。

エッセイ講評　エッセイ・写真コンクール審査委員長 吉村萬壱さん(市内在住の芥川賞作家)

コロナ禍の中で、コロナ関連の作品も多くありました。大きな災害があったときほど、家族のありがたみがわかると思います。

また、ステイホームなどでお父さんがずっと家にいたりして、普段と違う家族の色々な面も見えてきたと思います。よい面、悪い面含めて書くことで「家族って何だろう」と考えるうえでとても参考になると思います。そういった作品も楽しみにしています。

※吉村審査委員長にはZoomでご参加いただきました。

料理コンクール入選５チームのレシピ、エッセイ・写真コンクールの優秀賞作品は、ホームページをご覧ください